

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
仙台ECO動物海洋専門学校		平成31年2月26日		高橋 時明		〒 983-0852 (住所) 宮城県仙台市宮城野区榴岡二丁目4番19号 (電話) 022-292-1170			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人滋慶学園		昭和58年12月23日		浮舟 邦彦		〒 134-0084 (住所) 東京都江戸川区東葛西六丁目16番2号 (電話) 03-6808-3201			
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度			
文化・教養	文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 2年制(昼間I部)		令和4(2022)年度	-	令和5(2023)年度			
学科の目的	動物・ペットの分野で社会貢献できる人材を育成するために、1.人と動物とのより良い関係を考えて実践できる。2.業界人として必要な専門知識・技術を身につける。3.動物の行動心理を理解し接することができる。4.動物・ペット業界で活躍するために必要なビジネスマインドを身につける。5.社会人としてのマナーやルールを守る良識を身につける。以上を踏まえ、想像力豊かな業界が求める即戦力となる「自立協働型社会人」を育成することを、ディプロマポリシーとしています。								
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能な資格: 愛玩動物飼養管理士(1級・2級)、ドッグライフカウンセラー、アニマルコーディネーター、グルーミング検定A級・B級、愛玩動物看護師 2022年度 在籍者173人 退学者3人 退学率1.7%								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		1,800 単位時間 〇〇 単位	3,360 単位時間 〇〇 単位	2,750 単位時間 〇〇 単位	180 単位時間 〇〇 単位	0 単位時間 〇〇 単位	0 単位時間 〇〇 単位
	生徒総定員	生徒実員(A)	留學生数(生徒実員の内数)(B)	留學生割合(B/A)	中退率				
160人	157人	0人		0%	7%				
就職等の状況	■卒業生数(G)		83人						
	■就職希望者数(D)		64人						
	■就職者数(E)		64人						
	■地元就職者数(F)		33人						
	■就職率(E/D)		100%						
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		52%						
	■卒業者に占める就職者の割合(E/G)		77%						
	■進学者数		1人						
	■その他								
	(令和5年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報)								
■主な就職先、業界等				ペットショップ、ドッグカフェ、ペットホテル、訓練所、動物園、競走馬育成牧場					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		0		評価結果を掲載したホームページURL 〇〇〇〇				
当該学科のホームページURL	https://www.sendai-eco.ac.jp								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)								
	総授業時数		6,330 単位時間						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間							
うち企業等と連携した演習の授業時数		450 単位時間							
うち必修授業時数		単位時間							
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間							
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間							
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		180 単位時間							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(B: 単位数による算定)								
	総単位数		〇〇 単位						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		〇〇 単位							
うち企業等と連携した演習の単位数		〇〇 単位							
うち必修単位数		〇〇 単位							
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		〇〇 単位							
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		〇〇 単位							
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		〇〇 単位							
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して6年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		3人						
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		2人						
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人						
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人						
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人						
	計		5人						
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		5人							

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業の役職員が参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業や教育課程を各委員に検証してもらいアドバイスや意見を頂くこととしています。また、教職員による企業訪問等を通して、更なる情報収集を図っています。それらを十分に生かしつつ、教育課程や授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を実施しています。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は理事会の基に設置され、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっています。また、委員会の審議を通じて示された企業等の要請、その他の情報や意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めることを目的として、教育課程編成委員会を運営します。委員会で提案された意見は、学科会議で具体的な実践方法を検討し、教育課程編成に取り入れます。作成された教育課程は、教務部長・事務局長・学校長の承認を経て実施されます。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐山 義則	公益財団法人 日本生態系協会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
山田 健一	群馬サファリ・ワールド株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
渡部 悠平	のとじま水族館	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
菅原 亜依	協同組合仙台獣医師会夜間救急動物病院	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
鈴田 則文	NPO法人 森の学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
千葉 友里	那須どうぶつ王国	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
吉田 孟史	学校法人滋慶学園 常務理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
濱 絹予	学校法人滋慶学園 理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
高橋 時明	仙台ECO動物海洋専門学校 学校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
岩崎 剛	仙台ECO動物海洋専門学校 事務局長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
前田 英雅	仙台ECO動物海洋専門学校 副校長/教務部長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
関口 順子	仙台ECO動物海洋専門学校 教務課長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
坂本 勸訓	仙台ECO動物海洋専門学校 学科長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
阿部 翔平	仙台ECO動物海洋専門学校 主任	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年6月24日 13:00～15:30

第2回 令和6年3月16日 13:00～15:00

第3回 令和6年6月22日 13:00～15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

野生動物・環境保護専攻を3年制から4年制へ変更し専攻名をECO自然環境クリエイターへ。専門的な知識・技術+マネジメント力(集客力・運営力)、語学力、DXを身につける教育課程を設定した。教育課程については概ね適切であるという評価をいただきました。教育内容については、産学連携教育の柱である企業課題・企業プロジェクトの更なる取組と英語教育や環境問題に関連するSDGS等への取組についてご意見を頂いた。今後の検討課題として位置付けしている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校と業界が協力して業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出すという「産学連携教育システム」の基、即戦力としての職業人教育を行うため、業界と連携し、専門知識・技術、人間力を持ち合わせた人材育成を行います。また、教育課程に基づいて学外実習を実施し、教育課程における位置付けや成績評価基準、意義についても明確にしています。また、実施要領・マニュアル等を整備し運用しています。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携企業と講師業務委託契約書を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行います。授業は、兼任教員(非常勤講師)と学校が協議して作成したシラバスを基に進行され、成績評価は授業毎での到達目標への達成度並びに学期毎の定期試験の結果を以て総合的に評価されます。非常勤講師と専任教員は常に連携を密にし、情報共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に取り組んでいます。また、講師会や授業アンケートを基に授業実施後の連携も密にし、以降の授業改善にも反映させます。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
業界研修	5. その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	業界の現場ある各種の動物関連企業において、実際の仕事を体験し、自己研鑽の場や将来の就職に結びつけます。	Good Dog、犬と猫のサロン、上杉動物眼科クリニック、どんぐり動物病院、ドッグトレーニングパルコ 群馬サファリパーク他総数57施設

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学園の定める教員研修規定において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。また、中途退学者防止に向けた「学生ひとり一人」に対する対応案の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを展開することを年間の教育活動の中心と捉え、ファカルティ・デベロップメント活動(FD活動)を推進する専任教員に対して、以下の要素が年間を通した授業内容に反映されるよう研修を行っている。①キャリア期養育の視点②ひとり一人を見ていく視点

更に、専任教員と兼任教員(非常勤職員)で組織する講師会義において、この方針を共有し授業内容のチェック、教育技法改善に向けた研修を行っている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 第6回野生動物保全繁殖研究会大会	連携企業等: 野生動物保全繁殖研究会
期間: 令和5年8月28日～29日	対象: 日本動物園水族館協会会員、養成教育機
内容: 研究発表、ポスター発表、意見交換会	
研修名: 日本臨床獣医学フォーラム年次大会2023	連携企業等: 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム
期間: 令和5年9月23日～9月24日	対象: 獣医師、愛玩動物看護師、アニマル・ケア
内容: 基調講演、スペシャルシンポジウム、実習、企業展示、ポスターセッション、講義	
研修名: 令和5年度動物取扱責任者研修	連携企業等: 宮城県塩釜保健所
期間: 令和5年10月25日	対象: 動物取扱責任者
内容: 動物の愛護及び管理に関する法律について、人と動物の共通感染症及び消毒法について、その他	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 2023年度<<学科長対象>>FDミクロレベル研修	連携企業等: 一般社団法人滋慶教育科学研究所
期間: 令和5年7月5日	対象: 学科長
内容: 滋慶学園グループのFD研修について、滋慶学園グループ於ける授業デザインとその技法、事前課題	

研修名:	2023年度FDミドルレベル研修	連携企業等:	一般社団法人滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年7月20日	対象:	学科長・教務部長
内容:	滋慶学園グループのFD研修について、滋慶学園グループにおける授業の考え方、学科運営の関連法規 学科運営とカリキュラムマネジメント		

研修名:	2023年度教職員カウンセリング研修<1次>	連携企業等:	一般社団法人滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年9月14日～15日、26日～27日、28日～29日	対象:	入職1年目・2年目
内容:	青年期支援の基礎知識、滋慶学園における学生支援の基礎知識、学生支援のデザイン 学生を支援する法律と制度		

(3) 研修等の計画
① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	第7回野生動物保全繁殖研究会大会	連携企業等:	野生動物保全繁殖研究会
期間:	令和6年9月10日～11日	対象:	日本動物園水族館協会会員、 養成教育機関、一般市民
内容:	研究発表、ポスター発表、意見交換会		

研修名:	日本臨床獣医学フォーラム年次大会2024	連携企業等:	一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム
期間:	令和6年9月21日～22日	対象:	獣医師、愛玩動物看護師、アニマル・ケア・スタッフ、学生、一般市民
内容:	基調講演、スペシャルシンポジウム、実習、企業展示、ポスターセッション、講義		

研修名:	第3回愛玩動物看護師予備試験・国家試験に関する説明会	連携企業等:	日本動物保健看護系大学協会、全国専修学校動物系教育協会
期間:	令和6年9月27日	対象:	団体加盟の教職員
内容:	第3回愛玩動物看護師予備試験・国家試験スケジュール及び受験申し込みについて、ライセンス教育と学生指導・支援の在り方、適切な出願 手続に向けて		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	2024年度FDミドルレベル研修	連携企業等:	一般社団法人滋慶教育科学研究所
期間:	2024年6月10日～7月17日	対象:	学科長・教務部長
内容:	滋慶学園グループにおける授業の考え方、学科運営の関係法規、学科運営とカリキュラムマネジメント		

研修名:	2024年度キャリアサポートアンケート勉強会<<ビギナー研修>>	連携企業等:	一般社団法人滋慶教育科学研究所
期間:	2024年6月5日～7月26日	対象:	教務スタッフ
内容:	目的と意義、基本構造、事例紹介、クラス運営に活用する方法		

研修名:	2024年度<学科長対象>FDマイクロレベル研修	連携企業等:	一般社団法人滋慶教育科学研究所
期間:	2024年6月10日～7月2日	対象:	学科長
内容:	滋慶学園グループのFD研修について、授業デザインとその技法		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

【学校評価規定】として、「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、卒業生、保護者代表、近隣関係者、高等学校関係者及び業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、学校教職員が行った自己点検・自己評価を審議・評価し、様々な角度からアドバイスや支援を行うことで、学校運営の改善に活かすことを基本方針としています。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

退学率の軽減に対して、委員からご意見を頂いた。多様化する学生に対応する為の勉強会や研修の実施、合理的配慮に基づいた取組などについて、今後の検討課題として取り組んでいる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2024年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
八鍬 めぐみ	いぬらいふ 主宰	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	卒業生
齋藤 明美	保護者	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	PTA
佐々木 武弘	東北生活文化大学高等学校 校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	高等学校関係者校長
鈴木 隆	東八中央親交会 会長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	地域関係者会長
佐山 義則	公益財団法人 日本生態系協会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
山田 健一	群馬サファリ・ワールド株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
渡部 悠平	のとじま水族館	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
菅原 亜依	協同組合仙台獣医師会夜間救急動物病院	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
鈴田 則文	NPO法人 森の学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
千葉 友里	那須どうぶつ王国	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://www.sendai-eco.ac.jp/school/public_info/

公表時期: 令和6年8月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

事業計画の実行方針で提起された目標(中途退学者の低減、就職率100%)を具現化するために、企業等からヒヤリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成しています。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である兼任教員(非常勤講師)との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問等の機会を活用して積極的に情報提供を行っています。また、業界研修中は研修先に教職員が訪問し学生の研修状況の確認及び指導等も行っています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育の理念、コンセプト、学校長・所在地・連絡先・沿革、その他諸活動
(2) 各学科等の教育	3つのポリシー・定員、カリキュラム、卒業進級判定基準、卒業後の進路
(3) 教職員	教職員数、教員実績、学校組織図
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組み状況、就職指導マニュアル
(5) 様々な教育活動・教育環境	校舎設備紹介、課外活動
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組、健康管理
(7) 学生納付金・修学支援	学費一覧・諸費用について、奨学金
(8) 学校の財務	財務資料
(9) 学校評価	学校関係者評価委員会
(10) 国際連携の状況	海外実学研修、留学生支援・受入れ状況
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://www.sendai-eco.ac.jp/school/public_info/

公表時期: 令和6年8月31日

授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
	必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
1	○			Information Technology	コンピュータやインターネットの基本知識を学び、専門ソフトにおける操作の基礎を習得します。	1年・前	30	2		○		○					
2	○			キャリアデザインⅠ	社会人として必要な、身構え・気構え・心構えや一般教養を学びます。	1年・通	60	4		○		○					
3	○			キャリアデザインⅡ	社会人として必要な、身構え・気構え・心構えや一般教養を学びます。	2年・通	60	4		○		○					
4	○			ビジネスマナーⅠ	履歴書の書き方から社会人としてのマナーなどを学んだり、業界の方や卒業生からレクチャーを受け、仕事に対する身構え、気構え、心構えを身につけます。	1年・通	60	4		○		○					
5	○			ビジネスマナーⅡ	履歴書の書き方から社会人としてのマナーなどを学んだり、業界の方や卒業生からレクチャーを受け、仕事に対する身構え、気構え、心構えを身につけます。	2年・前	30	2		○		○					
6		○		エコロジー概論・動物関連法規	人と動物を取り巻く自然環境エネルギーや資源について考えて行きます。また、動愛法やワシントン条約など飼育管理や動物・自然保護に関わる条例や法律について学びます。	1年・前	30	2	○			○					
7		○		アニマルヒストリー・アニマルベーシック	コンパニオンアニマルとしてのルーツを探り、動物の歴史と人間の関わりなどを学びます。また、動物業界の仕事に携わるために必要な知識を学ぶ上で、その基礎となる生物の知識を学びます。	1年・前	30	2	○			○					
8		○		動物人間関係学	人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動（AAA）、動物介在療法（AAT）、動物介在教育（AAE）など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与することを目指します。	1年・前	30	2	○			○					
9		○		コンパニオンドッグⅠ	犬種の歴史、犬体、犬種の特徴などを習得すると共に、血統書の見方や登録方法を学びます。	1年・前	30	2	○			○					
10		○		コンパニオンドッグⅡ	犬種の歴史、犬体、犬種の特徴などを習得すると共に、血統書の見方や登録方法を学びます。	1年・前	30	2	○			○					
11		○		動物の健康管理	健全な犬・猫・小動物に必要な日常のケアと適正飼養法について理解し、個体にあった適正飼育について身につけます。	1年・前	30	2	○			○					
12		○		栄養学	三大栄養素、ビタミン、ミネラルなど動物の食餌に必要な栄養とその働きについて学びます。	1年・前	30	2	○			○					

88			○ 業界研修	業界の現場である各種の動物関連企業において、実際の仕事を体験し、自己研鑽の場や将来の就職に結びつけます。	2年・通	180	6		△	○		○		○	○
89			○ 内定者研修	就職内定者を対象に、卒業時には即戦力として活躍できるように、現場力を身につけるために実践的な研修を行います。	2年・後	90	6		○			○		○	
90			○ 特別研究課題	就職内定者を対象に、就職先よりレベルの高い研究課題をいただき、これまで身につけた専門知識を総合的に発揮できる実力を身につけます。	2年・後	180	12		○			○		○	
91			○ 卒業企業課題	就職内定者を対象に、就職先より企業課題をいただき、この課題に取り組むことにより、これまで身につけた専門知識を総合的に発揮できる実力を身につけます。	2年・後	180	12		○			○		○	
合計						91	科目	6330 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	2年間の内、1800時間以上を履修し単位を修得すること。校長は、学則第10条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法：	専門基礎科目の必修選択は1年生に18単位以上、2年生に2単位以上、履修することとする。専門科目の必修選択は1年生に28単位以上、2年生に48単位以上履修することとする。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。